

# 昭和51年度 和歌山県文化功労賞

うえ むら とし お  
植 村 利 夫

住 所：東京都文京区

出 身 地：和歌山県

生 年：明治42年

## ◎業績及び経歴

昭和2年和歌山県師範学校本科第二部、同7年同校専攻科卒業、安楽川・丸栖・鞆淵・野上等の小学校で教鞭をとられるかたわら、広く和歌山県の生物調査に専念、また紀伊生物学会を創始して機関誌「紀州動植物」を発行、その間クモ類で多数の新種を発見、一躍「クモ先生」として有名になった。

紀州で発見したクモの新種の中に、氏の恩師坂口総一郎氏に献名した珍種サカグチトリノフンダマシがある。

昭和10年東京都へ出向、東亜蜘蛛学会を創設してその機関誌「アクタ・アラクノロジカ」に多数の論文を発表、昭和36年北海道大学で理学博士の学位を取得、同45年杏林大学教授となり理事および教養部長を兼務して、専ら新設医科大学の育成につとめられたかたわら文京区教育委員として教育行政にも貢献された。氏のライフワークは「生物界に見られる段階変異の研究」であり、近くその成果が発表されることになっている。